

## お父さんのマサカリ、オノ、ノコギリ

く 国後島出身の池田 英造さんく

池田英造さんは国後島留夜別村植古丹に、お父さんの栄吉さん、お母さんのフミさん、次男の英造さん含むきょうだい六人、祖父母の十人家族でおじさん家族四人と一緒に暮らしていました。英造さんは終戦の年は小学校六年生でした。

昭和二十年ソ連軍侵攻後、家族は三回に分かれて島を脱出しました。九月二十七日に英造さんら八人が乗った動力船は六時間かけて根室に脱出して来たそうです。お父さんは家族を先に脱出させて島に残ったのですが、島では地域の人達は身内のような付き合ひがあり自分の家族だけではなく

その地域の八割の人達が出てから自分も行くぞという気持ちで残ったのだと、後にお父さんから聞いたとのことです。

お父さんは十一月に脱出してきたそうですが、無動力船だったため根室まで十八時間以上かかったとのこと。危険は伴うが時間の短縮を図ることができる風の強い時化の日を狙って脱出して来たとのことです。

このマサカリ、オノ、ノコギリは、七十年以上が経過し錆びて柄が無くなっています。英造さんはお父さんから「一番最初に考えたのは、根室空襲で家がなくて大変だろ

うから、根室に来た時に生活できないかもしれない。根室に行ったら木を切って小屋を作ってそこに入らなきゃならない」という思いで持ってきた

と聞いており、後にお父さんが根室で家を建てた際に使ったものなので、思い出の品として今でも大切に保管されているそうです。

また、祖父母は島から脱出するときに事故が無いようにと願い、祖父母が宝物にしていた不動明王を大事に持ってきたそうです。この不動明王はマツコウクジラの牙に彫りこんだもので大切に保管されています。

